

やまびこ館への招待

第2回埋蔵文化財展

12月18日(火)～平成14年1月27日(日)

昨年に引き続き、「埋蔵文化財展」を開催いたします。鳥取市埋蔵文化財調査センターの発掘調査の成果を「縄文時代」「弥生時代」「古墳時代」それ以降の「歴史時代」と四つのコーナーに分けて出土遺物を紹介するほか、実物の土器に触れていただく体験コーナーも設置する予定です。

鳥取市内には思いのほか多くの遺跡があり、またさまざまな用途に応じた土器・石器・木製品などの道具類が発掘されています。写真は1995年の岩吉遺跡の発掘調査で出土した人形木製品です。平安時代頃のものと考えられます。発掘当初は「因幡美人」などと称されました。写真では少しわかりにくいかもしれませんが、人の形に加工された板に墨で長い髪・顔・乳房・

腰ひもが描かれています。その用途は一般に身体の災いを人形にうつして水に流して祓い清めるために使ったと言われていています。有名な『源氏物語』にも、「陰陽師めして、ならべさせ給、舟にことごとしき人がたのせてながす」とあり、陰陽師によるおはらいをした後に人形を流したことがうかがえます。

写真の人形も河川の旧流路に相当する遺構から発見されたもので、今から千年以上も昔、何らかの思いが込められて川に流されたと考えられます。どのような人が何を願って人形を流したのか、ぜひ、実物をご覧になって想像してみてください。

問い合わせ先

やまびこ館(上町88・☎23-2140)



岩吉遺跡出土人形
(木製品)



第17回 国民文化祭・とっとり2002

夢フェスタ とっとり通信

～ふるさとふれあい夢づくり～
平成14(2002)年10月12日～11月4日

「プレ夢フェスタとっとり」を終えて・・・新たなステップへ

10月27日(土)、28日(日)に開催した「プレ夢フェスタとっとり・第28回鳥取県演劇連盟合同公演」に多数のご参加とご来場をいただき、深く感謝申し上げます。

天候不順やイベントラッシュの中を、たくさんの観客のみなさんの温かいご支援で乗り切ることができ、来年への大きな足がかりとなりました。しかし、同時に反省点もありました。劇中の台詞の中で、色覚に特性のある方に対して配慮に欠けた表現を行ってしまいました。深く反省し、あらためておわび申し上げます。今後の公演実施にあたっては、関係者一人ひとりが人権に対する問題意識を持ち、みなさんに芝居の楽しさを存分に味わっていただけるよう配慮したいと思っています。

来年の夢フェスタとっとり演劇祭(現代劇)では、公募作品「響け、大山に」(原作:吉岡啓一/演出:持田宗周)を上演します。大山の裾野を舞台に、一人の老婆が天寿を迎えるまでの周囲との細やかな人間関係と、IT社会の中で追いやられがちな自然と人間の調和を描いた大作です。まだ台本しかない状態ですが、いくつかの場面や台詞にはハッとさせられる力強さを感じています。どんな公演になるか楽しみです。

県下各劇団員に一般公募の出演者、スタッフを加えた合同劇団を編成する準備も動き出しました。さまざまな人と一緒に一つの公演を作っていくあの楽しさを再び味わえる喜びを感じながら、来年の公演に思いを巡らせる毎日です。



鳥取県演劇連盟事務局長
伊藤 げん さん